

○令和4年度 福祉学習実施数

No.	実施日	講座名	担当課	共催団体名	参加人数	講座の成果と課題
1	11月27日	「みんなで学ぼう 防災福祉の知恵袋」	疾病対策課 重層的支援推進担当課	尼崎市難病団体連絡協議会	46人	・介護及び障害サービス事業所等の支援団体や当事者団体と意見交換を行うことで、それぞれの立場での課題や悩み、具体的な取組内容を参加者全員で共有できた。 ・参加者が生活上の福祉課題に気づき、自分ごととして考えるための意識啓発や今後の防災活動の一助となる知識を共有し、防災意識の醸成が図られた。 ・講座等参加者数は前年度に比べ増加しているものの、コロナ禍以前の水準まで回復しておらず、効果的な情報発信が課題となっている。
2	1月15日	「防災をテーマに身近な地域のつながりを考える意見交換会及び防災訓練」	立花地域課 重層的支援推進担当課	尼崎市社会福祉協議会立花むすぶグループ	55人	・立花地区の福祉協会を中心とする地域住民や消防団、障害福祉サービス事業所等の多様な主体が交流することで、地域防災力の向上と地域住民同士で支え合う意識の醸成につながった。 ・実施地区の活動計画に基づき、「わがまちの防災」について考える一歩となった。 ・実施地区周辺で暮らす子育て世代への参加があり、町会活動の普及やわがまちの賑わいづくりにもつながるきっかけとなった。 ・実施地区では参加者の意識醸成につながったものの、それ以外の地区においても防災等の市民共通課題をテーマに支え合う意識の醸成を進める必要がある。